文化財だより

NO.18
令和元年度

発行●太田市教育委員会　発行日●令和2年7月31日　編集●太田市教育委員会文化財課（群馬県太田市粕川町520　TEL 0276-20-7090　FAX 0276-52-6080）

金山城築城550年記念祭

火縄銃演武

北条氏の使者と妙印尼との一騎打ちの場面

金山城が応仁３年・文明元年（1469）に築城されてから550年になるのを記念して、令和元年度を通して、様々な記念事業を開催しました。

このうち、10月20日には、史跡金山城跡大手虎口周辺において、金山城築城550年記念祭を実施しました。

秋桜（コスモス）太鼓による和太鼓演奏を皮切りに、群馬手創り甲冑会を中心とした甲冑武者による金山城主由良成繁の末亡人「妙印尼（みょういん）」の活躍を描いた寸劇、川越藩火縄銃鉄砲隊による火縄銃の演武が開催されました。

また、太田市出身の俳優・ミュージシャンの岡田浩暉さんに鉄砲隊本陣の大将役としてご出演いただきました。来場者は約600人でした。

秋桜太鼓による和太鼓演奏

新田神社社前での出陣式を終えた鉄砲隊

旧中島家住宅
国重要文化財指定３周年特別展示を開催しました

旧中島家住宅の国重要文化財指定３周年を記念して、令和元年10月１日から12月25日まで特別展示を開催しました。

旧中島家住宅の非公開部分である客間・次之間を会場として、前期（10月１日から11月10日）は「若き日の知久平と中島飛行機」と題し、明治35年から大正11年までの資料を展示しました。後期（11月12日から12月25日）は「中島飛行機の発展と政治家知久平」と題し、昭和５年から昭和18年までの資料を展示しました。

市が保管している中島知久平関連資料を公開するのは初めてのことで、市内外から多くの方に来場していただき、郷土の偉人である中島知久平の生涯に触れていただくことができました。

展示会ポスター

前期展示見学の様子

後期展示見学の様子

知久平が上京後父に宛てた直筆の手紙（明治35年8月17日）

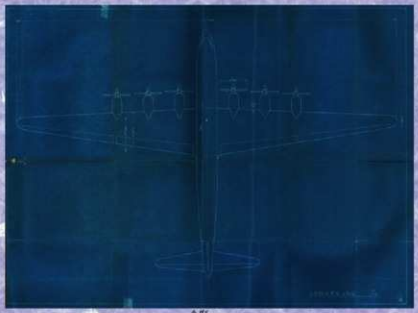
知久平海軍機関学校時代の「造船学ノート」

知久平愛用の硯

父繁吉が知久平に宛てた直筆の手紙

知久平の刀

旧中島家住宅の棟札



富嶽図面

史跡金山城跡・新田荘遺跡調査整備専門委員会

史跡金山城跡及び新田荘遺跡の整備や維持管理などに関する方針を決めていくにあたり、学識経験者や専門家による委員会の指導・助言を得るため開催しています。令和元年度は、６月５日と10月30日の２回開催しました。発掘調査報告書作成に関する指導、復元整備した石垣等の維持管理方針の検討のほか、出土遺物を実見してもらい指導・助言を受けました。

出土遺物実見の様子

史跡金山城跡発掘調査報告書刊行

史跡金山城跡の「伝土屋敷地区」と「釘貫戸張地区」にあった金山城跡大手道における発掘調査成果と総括をまとめた『史跡金山城跡発掘調査報告書』を刊行しました。発掘調査では、通路のほか、門、石垣、排水路や溜井等を確認することができました。この報告書は販売しておりませんが、史跡金山城跡ガイダンス施設で閲覧することができます。

発掘調査報告書

史跡上野国新田郡家跡調査整備専門委員会

史跡上野国新田郡家跡の整備や維持管理などに関する方針を決めていくにあたり、学識経験者や専門家による委員会の指導・助言を得るため開催しています。令和元年度は、令和２年２月26日に会議を開催しました。これからの具体的な史跡整備に向けた整備計画等について検討しました。また今後の整備基本計画作成の工程を提示して承認されました。

専門委員会開催風景

高山彦九郎関連の資料が新たに太田市指定重要文化財になりました

令和元年７月10日に高山彦九郎日記「利根路の秋旅」、高山彦九郎日記「丁酉春旅補遺２」「丁酉春旅補遺３」、高山彦九郎の遺品（高山神社）の３件が太田市指定重要文化財になりました。高山彦九郎は現在の細谷町で生まれた江戸時代中頃の勤王思想家です。彦九郎は生涯を旅に過ごし、全国各地の公家、武士、学者、文化人、商人など様々な階層の人々と交流し、その様子を地域の歴史、地誌、習俗などとともに克明な日記に記録しています。

「利根路の秋旅」は安永４年（1775）に利根川、江戸川を舟路でわたり江戸で５日間滞在し、中山道を陸路で帰郷するまでの７月８日から22日の15日間が書かれた日記です。現存する彦九郎の日記の中で、水路を利用した数少ない旅の日記です。

丁酉春旅は安永６年（1777）３月27日から５月４日までの旅が書かれた日記です。上州から江戸を経て甲州の身延山へ向かい、帰りは駿府の久能山から東海道、江戸を経て細谷へ戻った時のことが書かれています。「丁酉春旅補遺２」は丁酉春旅の断簡（文書の断片）で４月19日と４月24日の日記です。19日は東海道吉原宿（静岡県富士市）から三島宿（静岡県三島市）までのことが書かれ、24日は武州金沢（神奈川県横浜市）称名寺辺りのことが書かれています。「丁酉春旅補遺３」も丁酉春旅の断簡で４月23日に鎌倉の光明寺や長勝寺などを参詣したことが書かれています。

高山彦九郎の遺品（高山神社）は置手紙、烏帽子、沓、笏、櫛、水注、遺髪、天盃・土師器、天盃・木盃、書簡の計10点です。これらは高山神社に奉納された資料で、郷土の偉人である高山彦九郎を後世に伝えるものとして極めて重要なものです。

細谷町の高山彦九郎宅跡に隣接する高山彦九郎記念館では、彦九郎の旅とその足跡をテーマとし彦九郎の紹介を行っています。

利根路の秋旅

丁酉春旅補遺2

丁酉春旅補遺3

高山彦九郎の遺品

「旧中島家住宅模型」寄贈者感謝状授与式

令和２年１月31日に国指定重要文化財である「旧中島家住宅」の模型を太田市に寄贈したとして太田市在住の工芸作家小林光次さんへ太田市長から感謝状が贈呈されました。

感謝状授与式は旧中島家住宅の玄関広間で行われ、寄贈された模型も来館者が住宅内部の構造を見やすいように広間にて展示してあります。

小林さんに感謝状を贈呈した清水市長は「魂を込めて作られていることを肌で感じられる立派な模型だ。」と語っていました。

小林さんは現在の模型作りに励む前、富士重工業の自動車部品を作る部門で働き続けていました。そこで培った技術を生かし、定年退職後に栃木県足利市の歴史的建造物である足利学校の模型作りに取り組み始めたそうです。

今回の旧中島家住宅の模型を作成するにあたって事前に非公開部分の図面や写真を文化財課から借用し、現地に自ら足を運びながら通い続け、13か月という期間を要し完成させました。模型は隅々にまで小林さんの技巧が行き届いており、とても立派な作品になっています。

現在の旧中島家住宅は部分的に公開しており、内部で見学できるのは玄関棟と応接間のみになっています。全てが一般公開になるまで、この模型を多くの方々に堪能していただければと思いますので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

感謝状授与式の様子

史跡環境整備

文化財課では、雑草の草刈等を行い史跡等の管理、整備を行っています。特に夏場は雑草の伸びが早く、暑さもあり大変です。綺麗な状態で史跡の見学をして頂けるように環境維持に努めています。

史跡環境整備の様子

その他史跡管理（樹木伐採等）

史跡等の草刈以外に、古墳内にある危険な樹木の伐採や枝の剪定作業、天然記念物の樹木の生育状況の診断を行っています。訪れていただいた皆様に満足して頂けるよう、適切な管理に努めています。

令和元年度には、朝子塚古墳や丸山薬師のカタクリ群生地の樹木管理などを行いました。

丸山薬師のカタクリ群生地樹木管理

文化財模擬火災訓練

●と　き　令和２年１月26日（日）
　　９時30分から10時30分
●ところ　冠稲荷神社（細谷町）

昭和24年１月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年１月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

令和元年度は、細谷町の冠稲荷神社で実施しました。冠稲荷神社は天治２年（1125）に新田義重の父である源義国によって創建されたと伝えられる古社です。境内にある樹齢約400年のボケは県指定天然記念物で本殿、拝殿、聖天宮は市指定重要文化財です。訓練は冠稲荷神社の拝殿より出火した想定で開始され、冠稲荷神社関係者、消防本部、消防団の協力のもと、一斉放水などの訓練が行われました。

消防車出動

一斉放水

おおたんの 文化財探検スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な歴史遺産を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、令和元年度も「おおたんの文化財探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校が夏休みとなる令和元年７月20日から９月１日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計26箇所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全26箇所のうち20箇所以上を巡ると修了認定されますが、今回は3,648名の参加申込があり、その内の2,362名が修了認定されました。

修了者には記念品として、文化財課のマスコットキャラクター「ぶじんくん」と「すわりきじんくん」をプリントしたクリアファイルが贈呈されました。

また日時・場所を限定して説明会（市内３箇所）を実施しました。参加者数が1,902人、修了者（２箇所以上に参加）も798人と、昨年同様、多くの方が足を運ばれました。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。

ガイドマップとスタンプ帳

記念品（クリアファイル）

説明会修了記念缶バッジ

スタンプラリー実施状況（金龍寺）

スタンプラリー説明会実施状況（江田館跡）

出前考古学教室

文化財課では毎年、市内の小・中学校を対象に地域の歴史・文化を学んでもらう機会として、出前考古学教室を実施しています。学校に出張して土器や埴輪を間近で見て触れてもらい、生徒さんたちに歴史を身近に感じてもらうことを目的としています。

令和元年度は太田市立太田中学校で実施したほか、3ヶ所の行政センターでも生涯学習の講座としてお話をさせていただきました。

●**と　き**　令和元年6月20日（木）
●**ところ**　太田市立太田中学校
●**参加者**　1年生　105名

「古代の太田市」をテーマに、市内に現存する古墳を取りあげ、太田市の古墳時代の様子をご紹介しました。併せて最近の発掘調査成果や日頃の文化財課の業務などを通して文化財に携わる仕事の魅力をお伝えしました。

また、ここ数年継続して実施している、教室を利用した出土遺物の展示会も同時に行いました。縄文時代から古墳時代までの土器を中心に石器や埴輪なども展示しました。

授業の様子

展示会場の様子

●**と　き**　令和元年7月23日（火）
●**ところ**　休泊行政センター
●**参加者**　45人

「塚廻りと太田の古墳」をテーマとして、発掘調査成果から分かった古墳時代の休泊地区の様子や休泊地区を代表する塚廻り古墳群について紹介しました。

●**と　き**　令和元年9月20日（金）
●**ところ**　九合行政センター
●**参加者**　68人

「古墳からみる九合の歴史」をテーマに、天神山古墳と女体山古墳を中心に九合地区に残る古墳について紹介しました。また、会場内に九合地区から出土した土器を展示し、参加者の方たちに自由に見ていただきました。

●**と　き**　令和元年10月24日（木）
●**ところ**　宝泉行政センター
●**参加者**　69人

「太田の歴史・宝泉の歴史」をテーマに、古墳時代には円福寺茶臼山古墳やオクマン山古墳が築かれ、中世には新田氏と深い関わりのあった宝泉地区の歴史について紹介しました。

反丸遺跡（おおた渡良瀬産業団地発掘調査）

●調査場所　太田市吉沢町地内
●調査期間　平成31年4月1日から令和2年3月31日
●調査面積　約13,000㎡

平成29年度からの継続事業として、おおた渡良瀬産業団地造成工事に伴う反丸遺跡の発掘調査を実施しました。令和元年度は、遺跡の中央部（E区）を中心に調査を行い、その結果、古墳時代を中心として竪穴住居跡173軒、土坑295基、溝15条、ピット1,419基が確認されました。遺物も非常に多く、古墳時代の土師器・須恵器や石製品など遺物収納箱で413箱分出土しました。特にE区からは351箱（先行して調査したNe区を含めると387箱）分の遺物が出土しており、現時点で出土した遺物の半分を占めています。

また竪穴住居跡内から新たに「子持勾玉」が破片を含め3個体分出土しました。竪穴住居跡内から子持勾玉が出土する事例は全国的にも希少であり、当集落の特徴の一つである石製品製作工房との関連が想定されます。

反丸遺跡は、古墳時代の大集落であり、平成29年度からその集落を丸ごと調査していますが、今年度のE区における調査で、一辺が10mを超える大型竪穴住居跡が2軒確認されたこと、またその他の竪穴住居跡も他の調査区と比較にならないほど密集していることから、E区周辺が当集落の中心であったと想定されます。

一部未調査区があるため令和2年度も発掘調査を行い、集落の全体像をさらに明らかにしていきます。

E区作業状況の空撮（東から）

竪穴住居跡内から出土した子持勾玉（約9㎝）

竪穴住居跡内から出土した製作途中の臼玉

竪穴住居跡内から出土した碧玉製管玉（一部欠落）

1辺10m以上の大型竪穴住居跡　※赤丸は柱穴

推定東山道駅路溜池地区・大根西田遺跡（公共開発）

●**調査場所**　推定東山道駅路溜池地区
太田市新田溜池町、新田上中町地内
大根西田遺跡
太田市新田大町地内
●**調査期間**　令和元年5月25日から11月1日
●**調査面積**　推定東山道駅路溜池地区　約4,950㎡
大根西田遺跡　約1,350㎡

境北部工業団地の拡張造成事業に伴い発掘調査を実施しました。推定東山道駅路溜池地区では、駅路の両側溝（北側溝約65m、南側溝約180m）が確認されました。道路幅は両側溝の芯々で約13mでした。その他にも弘仁9年（818年）に起きた地震によるものと思われる断層、地割れ、噴砂の跡も数カ所で確認されました。9月29日には現地説明会を開催し、県内外から297名の参加がありました。大根西田遺跡では竪穴住居跡1軒、竪穴状遺構3軒、土坑3基、溝4条、ピット2基が確認されました。住居跡からは土師器や須恵器などが出土しており、これらの遺物の特徴から奈良時代末から平安時代初頭にかけて使用されたものと考えられます。

推定東山道駅路溜池地区調査区全景（西から）

大根西田遺跡調査区全景（上空から、上が東）

浜町遺跡（公共開発）

●**調査場所**　太田市本町地内
●**調査期間**　令和元年6月10日から7月8日
●**調査面積**　約78㎡

太田駅周辺土地区画整理事業に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の竪穴住居跡2軒、土坑3基及び奈良・平安時代の竪穴住居跡4軒、土坑1基などの遺構が確認されました。特に古墳時代の竪穴住居跡1軒からは大量の土器片がまとまって出土しました。

調査区（西から）

調査区（南から）

まとまって出土した遺物（北から）

●**調査場所**　太田市浜町地内
●**調査期間**　令和2年1月6日から1月30日
●**調査面積**　約86㎡

太田駅周辺土地区画整理事業に伴い発掘調査を実施しました。その結果、平安時代の土坑や中世の溝などの遺構が確認されました。また、古墳時代、平安時代及び中世の土器片が出土しました。

西調査区（西から）

東調査区（東から）

西田島遺跡（公共開発）

●**調査場所**　太田市下田島町地内
●**調査期間**　令和元年５月13日から30日
●**調査面積**　約78㎡

宝泉南部土地区画整理事業に伴い発掘調査を実施しました。その結果、縄文時代の土坑３基、時期不明の溝4条及びピット42基が確認されました。また、縄文時代の土器が出土しました。

1号土坑
出土浅鉢
（北から）

2号土坑
出土深鉢
（北西から）

高林鶴巻古墳群（民間開発）

●**調査場所**　太田市高林南町地内
●**調査期間**　令和２年１月27日から２月17日
●**調査面積**　約215㎡

２階建分譲住宅建設の道路築造部分について発掘調査を実施しました。その結果、古墳２基、近世以降の土坑１基、時期不明の土坑１基が確認されました。また、埴輪片が数点出土しました。

北調査区
（北から）

南調査区
（西から）

東部地区遺跡群（公共開発）

●**調査場所**　太田市岩松町地内
●**調査期間**　令和元年５月７日から15日
●**調査面積**　約35㎡

尾島東部土地区画整理事業の道路建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、竪穴住居跡７軒、土坑２基、ピット２基が確認されました。竪穴住居跡からは土師器や須恵器、灰釉陶器などが出土しました。これらの遺物の特徴から、竪穴住居跡は９世紀前半から10世紀前半に使用されたものと考えられます。

住居跡出土の灰釉陶器
（北から）

調査区全景（南から）

東部地区遺跡群（公共開発）

●**調査場所**　太田市阿久津町地内
●**調査期間**　令和２年２月６日から13日
●**調査面積**　約36㎡

尾島東部土地区画整理事業の道路建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、地下式坑３基、溝１条、土坑９基、ピット５基が確認されました。地下式坑は地下室となる主室部と、地上への出入口となる竪坑部で構成され、墓や土倉としての用途が考えられる遺構です。今回確認された地下式坑からは古銭や骨片、炭化物が出土しており、墓として用いられたものと考えられます。

炭化物がまとまって検出された地下式坑（北から）

令和元年度埋蔵文化財最新情報展

●と　き　令和元年11月23日（土）から令和２年３月１日（日）
●ところ　史跡金山城跡ガイダンス施設・金山地域交流センター　ギャラリー
●入館者　6,454人

令和元年度の埋蔵文化財最新情報展は、岩松千歳２遺跡の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「岩松郷のはじまり～やはたの神がいたるまで～」というテーマで行いました。

岩松千歳２遺跡は、太田市岩松町にあり、平成16・17年度に発掘調査を行いました。平安時代の竪穴住居跡をはじめ中世の道路遺構や館の堀、土坑墓など多数の遺構が確認され、出土した遺物は緑釉陶器や灰釉陶器、かわらけ、古銭など多種多様でした。会場ではこれらの遺物を展示し、平安時代から中・近世にかけての岩松地区の様子を紹介しました。

展示風景

最新情報展ポスター（展示を3/1まで延長）

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。令和元年度は駒形神社墳輪窯跡、今井地区遺跡群、平成30年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

令和元年度には、平成30年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『太田市内遺跡15』を刊行しました。

太田市内遺跡15

整理作業風景

令和元年度　確認調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	安良岡遺跡	安良岡町	H31.4	民間
2	杉ノ下遺跡	岩瀬川町	H31.4	民間
3	北之庄遺跡	由良町	R1.5	民間
4	内ケ島古墳群	内ケ島町	R1.5	民間
5	天良七堂遺跡	新田小金井町	R1.5	民間
6	鳥山下遺跡	鳥山中町	R1.5	民間
7	向野遺跡	高林東町	R1.6	民間
8	北之庄遺跡	由良町	R1.6	民間
9	三島遺跡	轟塚町	R1.6	民間
10	下田島遺跡	下田島町	R1.6	民間
11	天良七堂遺跡	新田小金井町	R1.6	民間
12	西田島遺跡	下田島町	R1.6	民間
13	房塚遺跡	内ケ島町	R1.7	民間
14	北之庄遺跡	由良町	R1.7	民間
15	西浦遺跡	上小林町	R1.7	民間
16	内ケ島古墳群	内ケ島町	R1.7	民間
17	天良七堂遺跡	天良町	R1.7	民間
18	竜舞落打遺跡	龍舞町	R1.7	民間
19	下原遺跡	新野町	R1.7	民間
20	東矢島古墳群	南矢島町	R1.8	民間
21	ＦＰ泥流下遺跡群	大舘町	R1.8	民間
22	丸山古墳群	丸山町	R1.8	民間
23	新ケ谷戸遺跡	南矢島町	R1.8	民間
24	ＦＰ泥流下遺跡群	亀岡町	R1.9	市
25	粕川山之神遺跡	粕川町	R1.9	民間
26	竜舞落打遺跡	龍舞町	R1.9	民間
27	宮前遺跡、飯塚条里制水田跡	飯塚町	R1.9	民間
28	吉沢窯跡群	吉沢町	R1.9・10	民間
29	鳥山宿屋敷遺跡	鳥山中町	R1.10	民間
30	木崎二ツ塚古墳	新田木崎町	R1.10	民間
31	焼山遺跡	東長岡町	R1.10	民間
32	高林鶴巻古墳群	高林南町	R1.10	民間
33	ＦＰ泥流下遺跡群	岩松町	R1.11	民間
34	浜町遺跡	浜町	R1.11	市
35	中江田本郷遺跡	新田中江田町	R1.11	民間
36	焼山古墳群、焼山遺跡	東長岡町	R1.11	民間
37	上遺跡	鳥山上町	R1.11	民間
38	細谷中遺跡	細谷町	R1.11	民間
39	高沢遺跡	高林北町	R1.11	民間
40	古戸赤城遺跡	古戸町	R1.11	民間
41	ＦＰ泥流下遺跡群	出塚町	R1.12	民間
42	飯田古墳群	飯田町	R1.12	民間
43	ＦＰ泥流下遺跡群	尾島町	R1.12	民間
44	下宿遺跡	東金井町	R1.12	民間
45	天神山古墳	内ケ島町	R1.12	民間
46	小谷場古墳群	牛沢町	R1.12	民間
47	天良七堂遺跡	天良町	R1.12	民間
48	東部地区遺跡群	岩松町	R2.1	民間
49	東部地区遺跡群	岩松町	R2.1	民間
50	東部地区遺跡群	阿久津町	R2.1	民間
51	房塚遺跡	内ケ島町	R2.1	民間
52	ＦＰ泥流下遺跡群	下田島町	R2.1	民間
53	ＦＰ泥流下遺跡群	出塚町	R2.2	民間
54	由良北原遺跡	由良町	R2.2	民間
55	宮西遺跡	東矢島町	R2.2	民間
56	延享割遺跡	泉町	R2.2	民間
57	宮前遺跡、飯塚条里制水田跡	飯塚町	R2.2	民間
58	ＦＰ泥流下遺跡群	亀岡町	R2.3	民間
59	ＦＰ泥流下遺跡群	粕川町	R2.3	民間
60	寺裏遺跡	鳥山上町	R2.3	民間
61	細谷東遺跡	細谷町	R2.3	民間
62	ＦＰ泥流下遺跡群	尾島町	R2.3	民間
63	一丁田・堀之内遺跡	新田木崎町	R2.3	民間
64	推定東山道駅路瀬池地区	新田上中町	R2.3	民間
65	ＦＰ泥流下遺跡群	尾島町	R2.3	民間
66	天良七堂遺跡	寺井町	R2.3	民間

開発に係る調整
令和元年度
事前照会・協議件数等

	公共事業	民間開発	合　計
事前照会・協議	39件	2,347件	2,386件
本発掘調査	4件	3件	7件
確認・試掘調査	2件	64件	66件
学術調査	0件		0件
立会調査	14件	11件	25件
慣重工事	7件	586件	593件
93条届出		601件	601件
94条通知	22件		22件
確認・試掘調査面積	220㎡	6,017㎡	6,237㎡
本調査面積	13,242㎡	286㎡	13,528㎡
学術調査面積	0㎡		0㎡

縁切寺満徳寺資料館

太田市徳川町385-1　☎0276-52-2276　開館時間／9時30分から17時　休／月曜日

特別展「往来物でめぐる日本列島の旅－東日本編－」

●と　き　令和元年10月20日（日）から12月15日（日）
●入館者　1,860人

往来物は、近代小学校以前の約900年間、日本人の識字率を支えてきた読み書き教材です。特に江戸時代には寺子屋の普及とともに、「村尽」「町尽」など各地の地誌に関する往来物が数多く作られました。

これらのうち、今回は東日本（蝦夷地・東山道・東海道・北陸道）由来の往来物を一堂に集め展示しました。特に、①各地の史料を幅広く揃えたこと（東日本25都府県を網羅する50点）、②現存唯一や新発見の貴重書が多いこと、③出版当時の原装本や写本の最古本を厳選したことなど、二度と閲覧できない展示となりました。

特別展の様子

特別展　展示説明会

●と　き　令和元年11月10日（日）　11時から
●講　師　小泉 吉永氏（法政大学講師）
●ところ　縁切寺満徳寺資料館　展示室
●参加者　11人

特別展「往来物でめぐる日本列島の旅－東日本編－」という展示に合わせた説明をしていただきました。地理科往来の分類には、国尽型・地誌型・都路型・参詣型・特殊型などがあり、展示資料の類型や各資料の説明をいただきました。

最後には、江戸時代の「寺子屋」における「往来物」の使用方法の実物資料によった説明があり、とても興味深く聞くことができました。

小泉　吉永氏

講演会「往来物でめぐる東日本」

●と　き　令和元年11月10日（日）　14時から
●講　師　小泉 吉永氏（法政大学講師）
●ところ　縁切寺満徳寺資料館　復元本堂
●参加者　32人

講演会は、「往来物でめぐる東日本」というテーマに沿った説明で、『地理科往来と展示資料』という事で、「往来物と往来物の変遷」・「地理科往来の分類」・「類型から見た展示資料」、また『十辺舎一九と「草津温泉往来」』という事で、「十辺舎一九と東海道中膝栗毛」・「旅情そそく旅行ガイドブック草津温泉往来」・「草津温泉往来を読む」という内容で行いました。

講演会の様子

縁切寺満徳寺資料館室内コンサート

クラシックギターコンサート

●**と　き**　令和元年９月28日（土）　14時から
●**ところ**　縁切寺満徳寺復元本堂
●**演　者**　荘村 清志氏（ギター奏者）
●**参加者**　73人

９曲からなるプログラムは、古典から現代に至るオーソドックスといってよい内容の、荘村氏が得意としている作品群であったといえます。

アンコールも３曲演奏され、その最後は、有名な「禁じられた遊び」でしたが、中間部に独特の部分をもち、斬新な印象を与えるものでした。この大家の演奏をこれだけ間近に聴くことのできた聴衆は、終演後もその余韻冷めやらぬ表情で、満足そうに帰途につきました。

ギター演奏する荘村 清志氏

琵琶語り、邦楽演奏を楽しむ会

●**と　き**　令和元年10月27日（日）　14時から
●**ところ**　縁切寺満徳寺復元本堂
●**演　者**　仁 恵依舟（仲林 光子）氏
　　仲林 利恵氏
　助演者　永嶋秀夫氏、神保佐香枝氏
●**参加者**　64人

「琵琶語り、邦楽演奏を楽しむ会」は、琵琶・笛などの和楽器演奏で定評のある仲林光子・利恵親子のほか、助演者として鳴り物の永嶋秀夫氏、神保佐香枝氏が加わり、独奏・二重奏から全員による上演まで、多彩なパフォーマンスが繰り広げられました。特に、創作琵琶語り「素戔嗚尊伝（すさのおのみことでん）」は、鳴り物が加わって物語を盛り上げており、迫力ある内容が会場を圧倒していました。今回は、琵琶、笛（篠笛・能管）、箏（琴）、大拍子、大太鼓と、多くの和楽器の実演が目の前で鑑賞でき、その意味でも貴重な機会になりました。

琵琶・語り　仲林 光子氏、笛　仲林 利恵氏

高山彦九郎記念館

太田市細谷町1324-7　☎0276-32-5632　開館時間／9時30分から17時　休／月曜日

特別展　「太田市新指定重要文化財展－高山神社の宝物ほか－」

●と　き　令和元年10月5日（土）から令和2年3月7日（土）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月8日（日）から臨時休館
●ところ　高山彦九郎記念館　2階企画展示室
●入館者　625人

令和元年度に新しく太田市の重要文化財に指定された「高山彦九郎の遺品（高山神社）」や高山彦九郎日記「利根路の秋旅」・「丁酉春旅補遺2」・「丁酉春旅補遺3」を公開いたしました。

高山彦九郎は、上野国新田郡細谷村（現群馬県太田市細谷町）に生まれた江戸時代中期の勤王思想家で、30年間にわたり日本国中を歩いた旅の思想家といわれています。明治時代以前に日本のほとんどを旅した数少ない一人と考えられ、幕末の勤王の志士たちに大きな影響を与え、明治維新を導いた人物です。

高山彦九郎は、生涯に数多くの旅日記を遺し、旅先のことを克明に記録しています。それらには、各地の政治、民情、風俗、歴史、地理にとどまらず、当時の国際情勢にも及ぶ幅広い内容が記載されています。

特別展　展示の様子

高山彦九郎遺中記「利根路の秋旅」の冒頭部分

講演会「高山彦九郎と蒲生君平との交流」

●と　き　令和元年10月6日（日）　14時から
●講　師　阿部 邦男氏（蒲生君平研究家）
●ところ　新田荘歴史資料館　学習室
●参加者　38人

蒲生君平の生涯や業績を中心に、高山彦九郎との交流、もう一人の「寛政の三奇人」である林子平の生涯、三奇人の相互の交流などの講演を行いました。

阿部 邦男氏

新田荘歴史資料館

太田市世良田町3113-9　☎0276-52-2215　開館時間／9時30分から17時　㊡／月曜日

ゴールデンウィーク・夏休み企画 ストラップ作り

●と　き　令和元年5月3・4日（金・土）
●参加者　23人
●と　き　令和元年7月20日（土）から9月1日（日）のうち土・日・休日に実施（15日間）。
●参加者　691人

透明プラスチック板を使い、オリジナルのイラストを写し取り、ストラップを作りました。

ストラップ作成の様子

正月特別無料開館

●と　き　令和2年1月2・3日（木・金）
●入館者　2,072人

長楽寺・世良田東照宮の正月初詣の賑わいの中、正月特別開館を実施しました。普段なかなか資料館に見学に来られない多くの方々に見学して頂きました。

正月特別開館の様子

藪塚本町歴史民俗資料館

太田市藪塚町149　☎0277-78-5728　開館時間／9時30分から17時　㊡／月曜日

藪塚本町歴史民俗資料館では、時代別の展示方法から、テーマに沿った展示を行っています。「よそおう（装う）・かざる（飾る）」、「つくる（作る）」、「移住する」、「おさめる（治める）」、「いのる（祈る）」、「かる（狩る）・とる（獲る）」などのテーマを設け、発掘調査で出土した考古資料であるアクセサリー（耳飾りや勾玉など）、土器や埴輪を展示しています。

「おさめる（治める）」のテーマの展示では、古代の役所（郡庁）としては国内最大規模を誇る「史跡上野国新田郡家跡」の出土品を展示するコーナーもあります。

「よそおう（装う）」の展示

「とむらう（弔う）」の展示

大隅俊平美術館

太田市由良町3051　☎0276-20-6855　開館時間／9時30分から17時　休／月曜日

第12回企画展「令和に伝わる大隅刀匠の業（わざ）」

●と　き　令和元年10月１日（火）から令和２年１月19日（日）
●入館者　828人

重要無形文化財保持者（人間国宝）大隅俊平刀匠が自ら制作した作品の中から今回は、高松宮殿下・同妃殿下への献上刀の控などを中心に太刀を展示しました。

また、企画展開催期間中には日本刀に関連する行事のほか、日本の伝統文化に触れる機会を提供する行事を行い、幅広い層の人に美術館の魅力を浸透させることを目的としました。

企画展のポスター

展示作品説明会の様子

展示作品説明会

●と　き　令和元年10月６日（日）　11時から・14時から
●講　師　高野 和也刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
●参加者　29人

企画展の展示作品を中心に作刀の工程などについて解説をして頂きました。

講　座

花結び講座

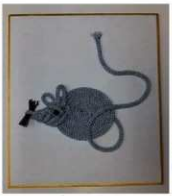
◆花結び講座「クサリ結びのブレスレットづくり」
●と　き　令和元年６月18・19日（火・水）
●参加者　37人

◆花結び講座「干支・子」
●と　き　令和元年11月12・13日（火・水）
●参加者　35人

◆花結び講座「むかで結びのストラップづくり」
●と　き　令和２年２月18日（火）
●参加者　31人

「クサリ結びのブレスレットづくり」

花結び講座の様子


「干支・子」

「むかで結びのストラップづくり」

実　演

銘切実演

●と　き　令和元年５月５日（日）
●実　演　本田 正紀刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
●参加者　64人

銘切実演の様子

刀身やすりがけ実演

●と　き　令和元年10月20日（日）
●実　演　本田 正紀刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
●参加者　40人

刀身やすりがけ実演の様子

王朝装束着想実演の様子

王朝装束着想実演

●と　き　令和２年１月18日（土）
●実　演　金井 美由紀氏
●参加者　22人
●モデル　令和元年度ミス八瀬川　西原 菜津美さん
　　令和元年度ミス太田　北村 萌海さん

年中行事

七夕飾り

●と　き　令和元年６月26日（水）から７月７日（日）
●参加者　74人

重陽の節句

●と　き　令和元年９月１日（日）から８日（日）
●参加者　276人

ふいご祭り

●と　き　令和元年12月１日（日）
●参加者　33人

雛飾り

●と　き　令和２年２月26日（水）から３月７日（土）
●参加者　61人

史跡金山城跡ガイダンス施設

太田市金山町40-30　☎0276-25-1067　開館時間／9時から17時　休／月曜日

ギャラリー展示（企画展）

企画展名	実施期間	入館者
第4回日本100名城パネル展 「中国地方の名城」	平成31年4月27日から 令和元年7月7日	7,793人
金山ひとむかし展	令和元年7月13日から 9月16日	7,677人
第8回篆刻展「武将印模刻展」	令和元年9月21日から 11月4日	3,970人
埋蔵文化財最新情報展 「岩松郷のはじまり」	令和元年11月23日から 令和2年3月1日	6,454人

展示を3/1まで延長しました。

体験学習

教室名	実施日	回数	講師	受講者
日本茶の美味しい入れ方教室	令和元年5月25日(土)	1回	斎藤一郎氏	18人
水引細工教室	令和元年５月30日(木)、６月６日(木)	2回	深町なつき氏	19人
つまみ細工教室	令和元年６月１日・８日(土)、6月13日・20日(木)	2回	栗原千鶴子氏	48人
草木染講座 (シルクのアームカバーを桜で染める)	令和元年6月21日(金)、22日(土)	2回	文化財課職員	20人
親子草木染講座 (キャンバストート（S）とバンダナを藍で染める)	令和元年７月24日(水)、27日(土)各日午前・午後	4回	文化財課職員	38人

日本茶の入れ方

つまみ細工

親子草木染 （藍）

水引細工

つまみ細工

親子草木染 （藍）

水引細工

草木染 （桜）

草木染 （桜）

教　室　名	実　施　日	回数	講　師	受講者
金山茶道教室	令和元年９月５日から11月７日まで　毎週木曜日	10回	高橋芳子氏	72人
篆刻教室	令和元年10月５日(土)、令和２年２月２日(日)	２回	龍舞篆会	22人
草木染講座 (シルクのストールを福木で染める)	令和元年10月25日(金)、26日(土)、27日(日)	３回	板野千恵氏 (初日のみ)／ 文化財課職員	21人
簪玉細工教室	令和元年12月13日(金)	１回	板野千恵氏	13人
こども鋳造体験 ～鏡づくり～教室	令和２年２月11日(火・祝)	４回	文化財課職員	８人

金山茶道教室

篆刻教室

篆刻教室

草木染　(福木)

簪玉細工

簪玉細工

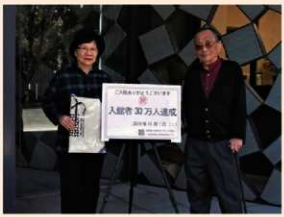
草木染　(福木)

こども鋳造体験

こども鋳造体験

ありがとう10周年、そして入館30万人を超えました。

平成21（2009）年５月に開館した太田市史跡金山城跡ガイダンス施設＋太田市立金山地域交流センターは、2019年で10周年を迎えることができました。また、令和元年11月９日で開館以来の入館者数が30万人を達成いたしました。ささやかな記念式典を行い、30万人目の来館者にはオリジナルグッズを贈呈しました。



金山を歩こう

●と　き　令和元年11月30日（土）
●ところ　史跡金山城跡
●参加者　13人

今年度のコースは、史跡金山城跡ガイダンス施設―見附出丸―西城―西矢倉台―物見台―馬場曲輪―大手虎口―日ノ池―実城―南木戸を通り、史跡金山城跡ガイダンス施設へ戻りました。発掘調査の写真とともに整備された金山城の各遺構の説明を行い、難攻不落の金山城を体感していただきました。

金山合戦

●と　き　令和元年８月４日（日）
●ところ　史跡金山城跡大手虎口
●参加者　こども43人

金山合戦は攻め手と守り手に分かれて戦う模擬戦です。合戦場は金山城の大手虎口、武器は玉入れの球です。攻め手は飛び交う玉入れの球をかいくぐり、奥にある土塁の前までたどり着いたら勝ち、そのまえに攻め手を阻止できたら守り手の勝ちです。よく晴れた暑い日でしたが、参加者の皆さんには城の攻めにくさを体感していただきました。

歴史講演会等

金山歴史講演会

●と　き　令和元年７月13日（土）
●演　題　「金山城築城と金山城下」
●講　師　田中 大喜氏（国立歴史民俗博物館研究部准教授）
●参加者　74人

金山歴史講演会は、金山城の築城前夜の情勢と金山城下がどのように変遷していったのかを文献資料に基づいてお話ししていただきました。受講者は興味深く耳を傾けていました。